常磐毎日
発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210番

衣料品の店 三都屋 三都屋 三都屋 平市二丁目 電1720

満場総立ち激論五時間 大波乱の夏井農協總會

五百余万円の赤字が出て問題を投げていた夏井農協（組合長、木田森之助県議）の第六回通常総会は、十五日定刻より二時間半遅れて午後三時半から夏井小学校に、組合長木田森之助氏、事務理事鵜沼彦午氏及び理事、監事、十四名、高橋県農協組合長、中野県農協石城支部長などのほか組合員約九十名（組合員五百二十八名）が集つて開かれ、不正赤字百九十五万円について鈴木組合員その他からするどい質問攻で木田組合長が吊しあげを喰い、一時は満場総立ちとなつて険悪な空気に立ち至つたが、県農組合長らの助け船で危機を拾収しながら延五時間余にわたつて論議した結果、右赤字は鵜沼専務理事が百万円、木田組合長が八十一万万円、残り十四万円は理事、監事ら役員が各一万円づゝを向う三カ年間に返済することでケリがつき午後八半過ぎ総会を終つた。

暴露された無軌道 木田組長しどろもどろ

総会は先ず木田組合長から「公金を横領したのは木田であるかの如く新聞紙上では報道されているが私は公金を横領してまで選挙に立候補するということなど思つてもいなかつた、…今組合長を辞めようとしている時、公金百九十万円という莫大な金額の責任を負わねばならぬ事は遺憾に堪えない次第である云々」と挨拶あつて議事に入ろうとした時、組合員から「不正事件の明るみに出た際なぜ組合長は緊急監事会を開かなかつたのか?」と質問あり、

木田組合長から「この総会には関連せぬ質問であるから流したい…」と逃げたので、議場はざわめき総会へき頭波乱を思わせた、次いで県農協石城支所塩沢所長から業務報告の説明あつて議事の討議に入つた、

組合の赤字五百十万九千円のうち不正赤字百九十万円の問題に対して、鈴木組合員から

▽二十七年に組合を県の指定とする案が出たにも拘らず、組合長せん断でこれを認めなかつたが、これを認めていたなら今日のような事態は起らなかつたではないか

▽更生組合の話を受けたのは昨年の春だつたが、この更生組合の話を理事会にもはからず今日この事態にまで追込んだのは組合長の責任であり、逃れる余地はない

▽百九十五万円という不都合な赤字が生じたことはわれわれ組合員の合点のゆかぬ事であり、何をやつていたのか解らぬ

などの質問あり、これに対し木田組合長は返答に窮しもぢもぢしているので、県農協の高橋組合長が傍らから、この質問をとりあげて弁明するなどの一幕もあり、木田組合長は「組合の指定などということは受けておらぬ」と述べれば「今更ウソをつけ」と更に詰め寄られ「精神が落着かなかつたのであのような返答をした、実は組合員個人がこの問題を受け入れなかつた」と先の返答をひるがえして謝罪の答弁をすれば、

組合員席の間から「このような無責任なことは旧吉田内閣が行つた政治と同じであり、われわれを百姓とあなどつて余りにも馬鹿にし過ぎることだ」…などの声も飛び出し、ここで赤字金額の返済方法をどうするかの問題で監事らが相談のため午後六時半一旦休けい、同七時再会、

鵜沼專務百万圓 木田組合長は八十一万円を弁済

高橋県組合長から返済期間を十年としたいと提案したが、組合員の間から「十年という永い年月には何らかの変動により返済出来ぬとも限らぬから、三年間にしろ」との声あり、木田組合長から五年間案があつたが、組合員から木田組合長の案には賛成出来ない、三年が妥当であると強硬に出て、もみぬいた結果三年間に返済することに決定をみた、

返済の金額は木田組合長が八十一万円、鵜沼専務理事が百万円理事及び監事十四名が各一万円づゝ計十四万円を弁済することに決定した、残りの議案はスムースに可決され同八時半に至つて波乱の総会を終つた。が、残余の赤字三百十万万円の処理については幾多問題が残されており、組合再建は不可能に近いとみられ、果してどう処理されるか今後の大きな課題となつている。

常磐、内郷の新入学児童

常磐市内の三十年度新入学児童は湯本一小校が四百六十二名（男百四十四、女百十八）、二小校四百二名、（男二百十九、女百八十二）、三小校二百七十二名（男五十二、女百二十）、磐崎小七九（男三十三、女四十六）、長倉小二百七十五（男百三十四、女百四十一）藤原小四十五（男二十一、女二十四）で昨年より約五十名位減少している、

中学校は湯本一中入学者二百九十九同二中三百六十七、磐崎中が二百六十六名となつている、

内郷市は年毎に新入学児童が減つており御厩小校では昨年の百二十九名が九十六名、に減つたのを始め、市内八ツの小、中学校がいづれも減つているという現況である、高坂小二百六十三白水小百四十九、綴小二百十二内町小三百三十名、中学校は一中が四百十三名、二中は四十六三名で昨年の進級生徒数である一中四百四十八名、二中五百五十八名がいちじるしく減少した数字を示している。

盛大に除幕式 好間渡辺翁の頭彰碑

（既報）栄達をよそに三十有余年間ひたすら子弟教育に一身を捧げ惜しまれ退職後も後継教育に努力して来た、好間村元第一小学校々長渡辺情翁(七八)の、教え子たちの結晶による「頭彰碑の除幕式」は十五日成人の日を機に熊野神社境内で行われた、

渡辺翁は現好間第三小校々長渡辺武先生の厳父で今更元気に余生を送つているが、同翁が社会に送り出した子弟は八千余名に達し、現村長鈴木栄一氏や現消防団長大河原茂平氏など村内有志のほとんどが教え子であり、昨年七十七才の喜寿の祝いを機に子弟らが相談して記念碑の建立となつたもの、工費六万五千円を拠出し三尺四方の土台の上に高さ六尺の立派なもの、額は天野文部大臣が、碑文は栗村県教育長が揮筆を揮い十五日午後一時から教え子二百余名が参列して除幕式を行つた

渡辺翁談

「生きているうちに頭彰碑を建て貰うなんてこれ以上の名誉はない」と教え子たちに取囲まれて感慨無量の面持でじつと碑を見めてい

永年勤續者表彰 平料藝組合の初総会

平料芸組合新年会は十六日午後二時から市内田町大貫で開き、次の芸妓並に従業員の永年勤続者を表彰したのち、諸橋平市長、高木松吉、関内正一両代議士の祝辞あり、引続き演芸を披露したのち祝宴に移り盛会に終つた。

永年勤續者表彰

▼芸妓の部、喜美の家「小りん」五年、久本「とみ子」同、開花「和美」三年、吉野家「小紅」同、湖月「小桜」同、久本「みよ子」同、久本「久丸」同、金本「清美」同

▼料亭従業員の部 酒喜屋「高島清次郎」五年、味郷「吉田セツ子」同、のんき「野口よし子」三年、一平「沢田澄子」同

芸道精勤者表彰

▼総合賞の部、久本「とみ子」寿々の家「すみ子」久本「深雪」久本「久菊」寿々の家「やよい」

▼分料賞の部、花柳舞師吉野屋「小紅」松の家「松美」喜代の家「きん子」長唄、千代本「駒千代」金本「清美」常磐津、喜美の家「小りん」分ますみ「小春」清元、湖月「小桜」鈴江「鈴代」鳴物、福清「小菊」金本「メ子」小唄、開花、「駒吉」橘家「花香」端唄、福清「高丸」久本「ひろ子」

大谷石 井上 平駅前66

預金と無尽
株式会社 大東相互銀行
平市大町・電110.378

湯本二小学芸会

常磐市湯本二小校の学芸会は来る二十九、三十の両日湯本砿自治会館で開催される、

炭礦にケア物資届く

貧困地区の人達はアメリカの温い手がのびて、十三日内郷市入丸と日曹赤井、大昭各炭砿にケア物資がおくられて来た、これはアメリカの難民救済団体からの救援物資で、援護局を通じて前記三炭砿に配られたもの、入丸炭砿でうけた物資にはバター、ジャプニングラード、インゲン豆、牛肉缶詰各百七十封度チーズ三百四十封度、綿魚油、二百九十七封度のほか米が二斗入り大箱十七コで、貧困にあえぐヤマの人達は旧正月を控えての温かい贈物に感激している。

祖國印 地下足袋 運動靴 長靴 袋屋本店

教務主任会

郡内小、中学校教務主任会は二十日午前九時から湯本公民館で開き総務事務研究と総会について協議

出生 死亡

（十一日届出敬称略）
出生＝中平窪字辰の口酒醸造業松本之長女千代美。

天気予報

（今晩）東及至南の風薄曇りから次第に曇が濃くなりましょう
（明日）東寄りの風曇り時々雨が降り山沿地方では曇りとなりましょう
（海上）今晩は多少風波あり明日は風波高いでしょう

故斎藤敏実葬儀に際しましては御繁忙中遠路わざわざ御会葬下され又御鄭重なる御供物御香奠を賜わり誠に有難度う御座いました
茲に皆様の御厚情に対し衷心より御礼申上げます
昭和三十年一月十七日
平市字田町五十四番地
嗣子 斎藤実
男 二郎
男 時正

宅地譲ります
◎一〇〇坪余 ◎分譲も致します
姓名在社

男子 住込店員入用
◎年令十七・八才まで
◎本人履歴書持参の事
平市二丁目TEL972
古山電氣

第拾三回全国菓子大博覧会名誉大賞牌受賞
銘菓 平餅
取扱店開設
毎度御引立厚く御礼申上げます　発売以來御好評を頂いております（平餅）が皆様方の御要望に応え致しまして下記商店にお願い申上げ取扱販売させて戴く事になりました　何卒今後共よろしく御愛顧の程伏してお願い申上げます
常磐市…市役所入口…要屋
勿来町……駅前…安島商店
……全国、地方発送承ります……
御菓子司
松月堂
平市銀座街　電話206番

味自慢
江戸前 割烹 小料理
◇仕出し承ります◇
和洋食 特製支那そば
◇出前迅速◇
求料理見習 16才…20才位
奈加や
才槌小路電395

看護婦 家政婦の御用命は……電三〇七番へ
労働大臣認可 看護婦家政婦 平斡旋所
尚派出多忙会員募集

食肉は…
◎神戸牛肉…
緑屋本店 平市一町目電五三九
◎季節向… ハムとソーセージ
緑屋支店 平市中央通り電七九四

マツオ医院
平市大町 電一五四番
院長 松尾正平
医員 原徳之
放射線科 杉田昭二
胃腸科 外科
呼吸器科外科
整形外科
産婦人科
放射線科

公判期日を延期
統一組被告の最終弁論

平事件統一組被告百三名の最終弁論は十七日午前十一時十五分から地裁平支部法廷で、山田裁判長高橋主任検事、上村弁護人立会で開廷十七、八、九の三日間公判は延期された。

平事件

被告席は金明福、鈴木磐夫、同光雄ら僅か七名で弁護団側も竹沢主任弁護人は尊父死亡のため出席出来ず、代りとして自由法曹団団長共産党員元国会議員上村進氏が立会つただけであり開廷後僅か十分で閉廷した、高橋主任検事から上村弁護人に対して、「竹沢弁護人との打合わせを行つたか」との質問に対し、上村氏は「突然の事であり現在打合せは行つていない」と解答、結局山田裁判長から延期の宣告があつて同四十分閉廷し

なお期日については裁判所側から追つて発表するが、今後の公判日程は既に発表されている日程通り行う。

内郷でサイレン備える

内郷市では五十七万円の予算で同市常備消防団本部ワキに火の見櫓をたてたが、更に火災予防徹底のため十四日六万円の予算で現在使用中の五馬力サイレンを十馬力に付けかえた、今度のサイレンは五キロ四方はらくに聞えるという優秀なもの、

会長に小野氏
磐城市高木松吉後援会

十六日午前十時から磐城市公民館日本間で、衆院高木松吉代議士の磐城市後援会総会が行われたが、会長立花市長から辞表が提出されて全員これを了承し、直ちに後任会長の選出にに当つた結果、会長に小野務平氏を選び、副会長、其の他の役員は顧問の立花市長と会長が選ぶことに決定午後二時に散会した。

熱源研究発表

労働省では一月から三月までを熱管理強調期間として名事業場に熱管理の撤底化を呼びかけているが常磐炭砿でも経営の苦しい折でもあるので、蒸気、電気などあらゆる熱を管理するためと、工作選炭係が各職場の熱源研究の発表を行うので、現場からのデーター作成を望んでる、

振わなかった正月競輪

輝かしい三十年の新春を迎えて新年へき頭から開催された第十回平競輪は前後節とも風こそ強かつたが割合好天に恵まれ一流選手を繰り出して昨十六日六日間の三十年度第一回競走を終了したが、初日から出足悪く、各レースも寒風のため走場並に選手のポデー・コンデションが乱れ、去る二日の初日七レース四―四に連九、六三〇円の大穴が飛び出すなどレースはもとより内外宣伝にアノ手コノ手をひねり出し躍気の広報も空しく六日間総売上げ三千三百八十万六千七百円という昨年同期に比べ九百四十八万八千円も下廻る数字で終幕、来るべき二月競輪に万全対処することになつたが、更に訪れる競輪開催記念である三月競輪と合わせ宣伝構想に大童である各穴レース並に配当額は次の通り、

▽第一日（二日）、▽七レース四―四連九、六三〇▽第三日（四日）、▽四レース五―二連七七七〇前節売上額一五、九六八八〇〇円▽第四日（十四日）、一レース連二―五三、六七〇、▽第六日（十六日）、▽八レース連四―三四、七九〇後節売上額一七、九〇七、九〇〇円、

きょう落成式
平高等理美容学院

（既報）平市田町平医師会（会長鈴木正男氏）附属の平高等理容美容学院増築並びに平医師会館の落成式は、十七日午後一時半から新装成つた同院講堂に、知事（代理衛生部長）はじめ関係名士二百名を招待して盛大に挙行された、会長鈴木正男氏から工事経過の説明と同学院の生い立ちについて報告あり知事（代理）県議長平市長、ら多数の祝辞工事施工者加地和組（代表川和徳一氏）に対する記念品贈呈あり、祝宴の後盛大に式を終つたが、三百人を収容し得る医師会館の完成と相俟つて同学院の発展が大いに期待されている。

内町小学校など表彰

常磐炭砿湯本砿健康保険連合会と内郷市綴町小校が十一日平保健所を通じて大竹知事及び県衛生協会太田支部長から表彰をうけた、湯本健保連は公衆衛生の見場と事業の進展に功績があり、内町小校はトラコーマ治療指導の成績が優秀であるというもの。

内郷署寒げいこ始る

内郷警察署では十七日から柔、剣道、逮捕術の寒けい古に入つた、納会は二十六日で紅白試合や、模範試合行う、道場は内郷高校体育館で毎日午前十時から、なお講師は柔道が常磐炭砿太田徳重五段、剣道が同円谷兼広、山田管雄の両氏。

剣道昇段者決る

昨秋十月実施された剣道階級審査の結果郡内から左記九十名が合格十六日平署演武場で免許状下付伝達式を行つた、なお本年度定期審査は二月十三日平署演武場で実施の予定、

初段 永山且三、坂井由貴夫会川晴洋、樫村正、佐藤充紀、野崎予一、滝田正志、会田友一郎・木下代一、永池政昭、秋元正き、赤ゞ根重三、国井義一、左近司政美、海野清治、左近司勝美、和田守夫、原田憲一、永山政雄、志賀創、菅原國一、志賀友明

二段 高木一郎、大竹隆正、佐藤褒、山口博男、池田治巳、阿部正國部文、阿部秀行、佐藤軍司、泉栄一、志賀寧之、山城栄、菅野弼、吉田松男、高木三郎、永山新、志賀義雄、佐藤信義、木下亘之助、須藤庄尉、高田四郎、佐藤至弘、瀬谷一晃、佐藤忠利、志賀武重、赤津孝、谷田部吉美、宮下修一、小野清美、永山忠二、久野保雄、志賀藤四郎、四家留三郎、吉田美恵佐藤勝治、斎丸茂吉、柳作次郎

三段 求山徳二、長瀬建一、木村保之次、萩栄、志賀博、鈴木英夫、遠藤情八、勝倉衛、鈴木守、江尻彦明、佐藤市松、大和田武雄、山野辺孝一、坂本久道、鈴木忠二、今野直松、塙義男、高橋巧造、木村正美、若松長吉、鵜沼輝男、麻原妍重、宵天自弘、山田行雄、永山昭三、志賀和雄、木村郷一、猪狩敦喜坂本勇、近江谷情、遠藤清治、

割烹 開花 田町 電一三八九

一等が常磐市に
お年玉はがき当選番号

年賀ハガキの当選番号は十五日に抽選されて、各等が発表されたが常磐市局内磐崎局で扱つた年賀ハガキに一等のミシンが入つていることが判つた、葉書の買い主は常磐市岩ガ岡酒造業御代武光さん(三)で同さんが矢吹市長に宛てた番号が九二二四九七で当選番号の九二二四八七に十違いなので、買つた五十枚のうちにミシンが入つているというもの、幸運者は誰か、一等のミシンをめぐつて新春の話題をさらつている。

巣箱コンクール

文部、農林両省では小、中学生に対する理科学の実際研究と情操教育の面から愛鳥精神を養うために第四回野鳥愛護に関して広く全国から県募集で集められた巣箱のコンクールを開催することになつたが、これに伴ない県教委石城出張所でも郡下各小中校に呼びかけ平三中、勿来一小、小名二小、宮小四倉中、好間中などの六校による二十個の巣箱を来月下旬頃開かれる県予選コンクールに出品することになつた。なお、同所では引き続き応募を要望している。

割烹 旅館 潮月 平 電一〇七三

金ヘンドロ

常磐署では十三日同市小野田字梅ケ平無職竹中幸吉(三)を窃盗の疑いで捕まえた。竹中は一月初旬常磐炭砿磐崎砿の材木置場から数回に亘り金ヘンなどを盗んだもので同署で余罪を追求中である。

窃盗二人組

平署では五日窃盗現行犯で捕まえた赤井村高萩字山ノ入少年A(一九)少年B(一七)の両名を十四日送検

ニハトリ盗む

内郷市宮町竹の内生れ住居不定無職土工野崎正義(三四)は十三日午前四時ころ同市綴町の内会社員柴田義明さん方横の鶏小屋からニワトリ一羽を盗み、高坂町土工谷口弘(三五)方にかくれているところを内郷署員に捕まつた、野崎は窃盗、詐欺、傷害など四ツの前科を持つ男で余罪を追求されている。

百円拾う

十日午後二時ごろ平一中一年生東原げん一郎君(一三)は市内才槌小路第二製パン前路上で現金百円を拾い駅前派出所に届出た。

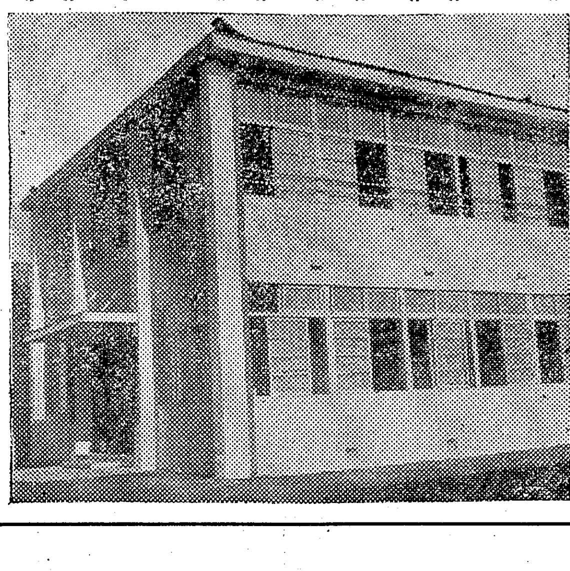
耳と目

十六日の日曜日に平市公会堂でNHKと朝日新聞主催で、のど自慢全国コンクール浜通り地区予選が行われた、入場料としてはとらなかつたが、場内整理費と銘打つて三十円を徴収しても整理し切れないほどの満員だつた、ところが期待にはずれ伴奏者がアコーデオンが一人切りで、流行歌はなんとか伴奏になつたが、その他になるとてんで伴奏にならず、聴衆から非常な不評を買つた、公共団体であるNHKの催物としては全く無責任極るものだと、非難の投書が多数送達されたので聴衆者を代表してこの欄から主催者側に一言苦言を呈する、

誰方でも安心して使える ふくふく綿 2丁目 平製綿KK 電 748 1958

平醫師會館新築 祝 落成平高等理容美容学院

電機施工
螢光燈は三菱製品使用
横山電機
施工 横山七郎
責任者 横山武一
平市長橋町 電一三二四



設計施工
株式会社 加地和組
社長 川和徳一
設計者 鈴木武
工事責任者 鈴木芳義

平理容師組合
組合員一同

平醫師會
会長 鈴木正男
外会員一同

平美容師組合
組合員一同